

平成 24 年 8 月 21 日

キャリア教育支援資料「今ある教育活動を生かしたキャリア教育」 —小・中・高等学校における年間指導計画作成のために— について

このたび、国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センターにおいて、キャリア教育の更なる推進・充実に資するため、標記の新資料を作成し、全国の小学校、中学校、高等学校、教育委員会に配布することになりましたので、お知らせいたします。

1. 趣旨

就職・進学を問わず、子供たちの進路をめぐる環境が大きく変化している中、児童生徒の社会的・職業的自立に向けて必要な能力や態度を育てるキャリア教育の推進が強く求められています。

しかし、一方で、学校に期待されている教育課題が多く、教員が多忙感を抱いている現状もあります。

そこで、本支援資料は、キャリア教育と今日的な教育課題に対応するための消費者教育やシティズンシップ教育などのいわゆる「〇〇教育」との関係性を整理し、各学校で既に取り組んでいる「〇〇教育」を生かしながらキャリア教育の年間指導計画作成する手順等を具体的に提示することにより、教員の負担感を軽減し、キャリア教育の実践に資することをねらいとしています。

2. 主な内容（概要は別紙参照）

- ・学校に期待されている多様な期待とキャリア教育の指導計画づくりの必要性
- ・キャリア教育と「〇〇教育」との関係の整理
- ・今既にあるキャリア教育の「宝」の洗い出し
- ・キャリア教育の年間指導計画作成の手順
- ・「〇〇教育」を生かしたキャリア教育の年間指導計画作成の具体事例

3. 配布について

8月下旬に全国の小学校、中学校、高等学校、教育委員会に配布し、併せて、国立教育政策研究所のホームページに掲載します。

【研究所ホームページ URL】 <http://www.nier.go.jp/>

（お問合せ）

国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター

総括研究官 藤田 晃之 電話：03-6733-6883（直通）

企画課長 大瀬 勝寿 電話：03-6733-6879（直通）

企画課指導係 深澤 国広 電話：03-6733-6882（直通）

〔広報担当〕

企画普及室室長補佐 岩城由紀子 電話：03-6733-6812（直通）

■ 今ある教育活動を生かしたキャリア教育ーキャリア教育をデザインするー

本支援資料は、教員の負担感を増やさずにキャリア教育の更なる推進・充実を図ることを目指し作成しています。その方策として、キャリア教育といわゆる「〇〇教育」との関係性を整理し、各学校で既に取り組んでいる「〇〇教育」を生かしながら、自校ならではのキャリア教育の年間指導計画を作成する手順等を具体的に提示していますので、有効にご活用ください。

■ 支援資料の構成及び内容について

pp. 2-3 学校教育に寄せられている多様な期待

学校に期待されている教育課題の現状と、キャリア教育の指導計画づくりの必要性を示しています。

pp. 4-5 キャリア教育と「〇〇教育」 両者の関係をこのようにとらえてみませんか？

キャリア教育と「〇〇教育」の共通部分に注目して整理することにより、各学校で取り組んでいる「〇〇教育」を生かしながらキャリア教育を充実させることで、両方とも充実させることができることを示しています。

pp. 6-7 今、既にある「宝」を洗い出そう

キャリア教育の視点から学校の教育活動を振り返ると、これまでに実践してきた教育活動にはキャリア教育として生かせる「宝」がたくさんあることを示しています。

pp. 8-9 キャリア教育の年間指導計画をつくろう

自校ならではのキャリア教育の年間指導計画を作成する際の基本的な考え方や手順を示しています。

Step 1 : 洗い出す → Step 2 : つなぐ → Step 3 : 検討する

pp. 10-13 キャリア教育の年間指導計画の作成事例

各学校で既に取り組んでいる「〇〇教育」を生かしながら、キャリア教育の年間指導計画を作成した具体事例を示しています。

【事例1】 「食育」に取り組んできたA小学校

【事例2】 「消費者教育」に取り組んできたB中学校

【事例3】 「シティズンシップ教育」に取り組んできたC高等学校

【事例4】 「福祉教育」に取り組んできたD高等学校

pp. 14-16 キャリア教育をめぐる疑問にお答えします

多くの先生方からいただいた質問をまとめ、その回答を示しています。